

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	家電機器修理実習	
科目基礎情報					
開設学科	電子・電気科	コース名	電子工学コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	初回講義時にプリントを配布する。				
担当教員情報					
担当教員	横山 重明		実務経験の有無・職種	有・電気通信	
学習目的					
1年次で身に付けた基礎的な技術を基に、ゲーム機、コントローラー、アンプ、電源回路などの身近な家電機器の分解・清掃、故障診断、故障修理を行う。学生が、現実の家電機器の故障診断、故障修理を行うことにより、総合的な技術力を養うことを目的とする。					
到達目標					
この科目では、学生が、正しい家電機器の分解・清掃の仕方を身に付けること、特殊工具の使い方に習熟すること、故障診断の仕方を身に付けること、故障修理と修理部品の交換作業ができるようになることを目標にしている。また、学生の総合的な技術力の向上も合わせて期待するところである。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、ゲーム機、コントローラー、アンプ、電源回路などの家電製品・機器の中から2テーマ（課題1、課題2）を選択し、それぞれについて分解・清掃、故障診断、故障修理を行う。分解・清掃を通して、家電製品・機器の構造と電気回路を理解し、故障診断、故障修理を通して実技能力の向上を目指している。また、家電製品・機器についての理解をより深めるため、分解・清掃、故障診断、故障修理の課程を「分解・清掃、故障修理報告書」にまとめる。				
注意点	特に指定が無い限り実習は各個人で行う。実習内容によっては二人一組で実習を行う場合がある。理由のない欠席や遅刻は認めない。欠席または遅刻により課題が終了しない場合は、追実習を受けなければならない。実習室内での飲食は禁止する。実習中は他の学生に配慮し、私語は慎むこと。実習内容についての質問は積極的に受け付ける。授業時数の4分の3以上出席しない者は、未履修となる。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	実技	50%	実習内容の理解度と到達度を総合的に評価する		
	レポート	30%	実習内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		実習の目的と内容、一般的注意事項について説明し、故障修理の家電製品・機器を選択する		
2回	課題1-1 分解・清掃		課題1の家電製品・機器の分解・清掃を行い、内部構造を理解する		
3回	課題1-2 故障診断		課題1の家電製品・機器の故障診断を行い、故障原因を把握する		
4回	課題1-3 修理・部品交換		課題1の家電製品・機器の故障修理・部品交換を行う		
5回	課題2-1 分解・清掃		課題2の家電製品・機器の分解・清掃を行い、内部構造を理解する		
6回	課題2-2 故障診断		課題2の家電製品・機器の故障診断を行い、故障原因を把握する		
7回	課題2-3 修理・部品交換		課題2の家電製品・機器の故障修理・部品交換を行う		
8回	まとめ		課題1・課題2の不足分を補い、全体のまとめを行い、「分解・清掃、故障修理報告書」を提出する		